

第5回 西宮市都市計画マスタープラン策定委員会

日 時：平成 22 年 10 月 16 日（土）
午前 10 時 00 分～

場 所：西宮市大学交流センターセミナー室 2
アクタ西宮東館 6F

次 第

1. 開 会

2. 議 事

暮らしとまちのビジョン(案)についての検討

全体構想（ビジョン実現に向けた取組方針）(案)の検討

3. その他

配布資料

- ・資料 1 暮らしとまちのビジョン(案)
- ・資料 2 全体構想(案)
- ・資料 3 都市計画マスタープランの構成イメージ(案)

暮らしとまちのビジョン（案）

暮らしとまちのビジョン（案）

まちづくりの基本理念

これまで、私たち西宮市民は、さまざまな形で市民が中心となって美しいまち、環境にやさしいまちづくりを行ってきました。

大正末期から昭和初期に国有地であった夙川河川敷の改修に際し、民間による国有河岸地払い下げの動きに対抗して、宮水の保全、美しい景観保全のため、河川敷を公園として整備する当時としては画期的な都市計画事業を実施しました。この整備費の一部には、河川から 150 間の非常に広い範囲から徴収した負担金があてられました。

高度成長期の昭和 30 年代後半に「文教住宅都市宣言」の契機となった石油コンビナートの誘致問題が発生し、自然や住環境の保全とともに、酒造りの命ともいえる「宮水」の保全が重要な争点となりました。

平成 7 年の阪神大震災では、多くの命が近隣の住民に助けられるなどコミュニティの力が再認識されるとともに、多くのボランティアが全国から集まり、自らのネットワークで震災からの復興を支えました。

また、戦前、西宮には新しい郊外居住を求めて地名に「園」のつく閑静で個性的な住宅地が多く開発されました。もともとの人づくりを大切にす市民の気風とともに、大学をはじめとする数多くの文教施設が立地する誰もがあこがれる学園のまちをつくりました。

このように市民の力、文化を愛するな気風が積み重なり、現在の西宮の姿を作っています。

現在を生きる私たちは、これまでの西宮の歴史・文化や人々の営みなどに敬意を表し、この受け継いだ財産をさらによいものとして次世代に引き継ぐため、新たなまちづくりのステージに踏み出すときをむかえています。

そこで私たちは、先人が大切に守った「宮水」を「西宮での潤いある暮らしを支える象徴としての水＝宮水」、さらに「えん」を「多様なふれあいや機会を生み出す“つながり”」として捉え、今後の西宮のまちづくりにおける必要不可欠なキーワードとして大切にしていきたいと思ひます。

西宮がこれまで培ってきた文教住宅都市としての優れた環境と、品の良さを感じさせる個性的な都市イメージをさらに高め、後世に継承しつつ、人の「えん」を大切に全ての生命の根源ともいえる「宮水」（＝西宮での潤いある暮らしを支える象徴の水）が流れるごとく「人と自然」、「人とまち」、「人と人」をつなぎ、個性と魅力を創造しながら、人々の清らかな心を涵養する美しいまちを育てていくため、私たち一人ひとりが勇気を持って一歩を踏み出し、協働のまちづくりに取り組んでいきます。

人と自然のつながりを育む

私たちは、甲山に象徴される緑あふれる六甲山系の山並み、武庫川や夙川などの清らかな河川、大阪湾に面した甲子園浜や香櫨園浜などの貴重な自然海浜などの大自然から、杜や公園、田んぼや畑などの小さな自然まで、暮らしの身近にある豊かな自然を意識し、大切に守り育むことで、自然とのつながりを感じることができる暮らしをめざします。そのために、一つひとつの自然を守るだけでなく、それぞれの関係を意識し、有機的に連携させることで、人と自然環境が共生する美しいまちづくりに取り組みます。

人とまちのつながりを育む

私たちは、阪神間モダニズムの伝統をくむ洗練されたまち、芸術、文化、教育、娯楽、またそれらとの関わりの中で培われてきた自由な市民文化や生活文化を受け継ぎ、享受しています。この文化に触れるために多くの方を西宮に迎えています。この財産をよりよいものとして次世代に継承できる暮らしを目指します。そのため、閑静で利便性の高い住環境や多くの人が集いにぎわうまちなど、それぞれの地域における歴史や伝統、産業、風土などの特性を大切に育み、個性的なまちに育てるとともに、それぞれのまちが連携することで、誰もが暮らし、集いたいと思える魅力的で美しいまちづくりに取り組んでいきます。

人と人のつながりを育む

私たちは、子どもから高齢者まで、また市内の北部から南部まで、世代、立場、地域を超えて様々な人々が集い、語り、学び、遊ぶことで、自らの成長を実感し、ぬくもりや優しさを感じる暮らしを目指します。そのため、市民ひとり一人が自らの強みを伸ばすだけでなく、それぞれが連携することで、不可能を可能にできるよう、自らができるところから一歩を踏み出し、互いの思いを共有できる仲間とともに、協働による美しいまちづくりに取り組んでいきます。

このように、人と自然、人とまち、人と人をつなぎ、育むことで、美しい西宮を実現するため、私たちは以上の基本理念を次のとおりフレーズにまとめ、まちづくりに取り組んでいきます。

宮水の“えん”でつなぎ育む 美しいまち 西宮

暮らしとまちの将来像

暮らしの視点を重視した6つのテーマから、私たちが目指す「暮らし」とそれを支える「まち」の姿を捉え、「暮らしとまちの将来像」として次のように定めます。今後、「まちづくりの基本理念」に基づき、「暮らしとまちの将来像」の実現に向けてみんなで取り組んでいくものとします。

(1) 豊かな緑と水に親しめるまち

西宮には市街地の背景となっている六甲の山並み、まちのシンボルのひとつでもある甲山、武庫川や夙川をはじめとする水の流れ、豊かな水をたたえる大池や新池などのため池、甲子園浜や香櫨園浜の自然海岸、街路樹に覆われたまち中の緑陰空間、市街地にある田んぼや畑などの農地、神社の鎮守の森に代表される民有緑地、近所の小さな公園や緑地、小川や池など、目を向けてみると豊かな緑と水があります。これらの緑や水は私たちの生活にやすらぎや暖かみを与えるばかりでなく、都市の風格を生み出すとともに、文教住宅都市としての環境の重要な素地となっています。

今後のまちづくりでは、みんなが自然をより身近な存在として感じ、その恩恵を享受できる暮らしを実現していきます。このため、緑や水との関わりを通じたコミュニケーションを大切にしながら、人と自然が調和する緑と水に包まれた庭園のまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

豊かな自然の恵みを楽しむ

- ・自然体験を通じて自然のもつ役割や私たちの暮らしとの関係について学び、その恩恵に対する喜びと感謝を感じながら暮らしている
- ・豊かな緑や水に囲まれた環境の中で、青少年がのびのびと健やかな心身と、集中力やひらめきを育てている
- ・森にはムササビ、川には蛭が棲むなど、多様な生態系が維持されている

豊かな自然に親しむ

- ・休日には家族でふらっと美しい海、山、川、森に行き、自然と親しむことができる
- ・子どもたちが美しい海や川で安全に、のびのびと遊べ、そこで釣った魚は食べることができる
- ・緑に包まれた環境の中に心のケアを行うセラピーガーデンや、自然学習ができる空間がある

身近に緑に触れられる

- ・身近にある緑豊かな公園や広場、街路樹の緑陰に憩い、語らうことができる
- ・鎮守の森や各地の公園などの緑の核を結ぶ緑豊かな街並みがあり、暮らしの中でいつも緑を感じていることができる
- ・休日には自宅からそう遠くないところにある市民農園で農を体験したり、地域にあるコミュニティガーデンで植物を育て、人々とのふれあいや交流、緑を愛する心を育てている

(2) 環境と共生するまち

私たちが暮らす市街地や集落地の環境は、自然の地勢と道路、公園、建物、農地などの人工物によって構成されています。これらの環境は私たちの日々の暮らしのニーズに応じて作られてきたものであり、また逆に、私たちの暮らしはこうした環境に左右されるものでもあります。更に、そこで営まれる暮らしは地球の環境とも深く結びつき、近年は私たちの暮らしが地球の環境に与える影響による問題が深刻化しつつあります。

今後のまちづくりでは、身近な地域の環境や地球環境との関係を意識しながら、地球にやさしい暮らしを実現していきます。このため、美しく快適な地域環境の中で自然を意識するきっかけを与えてくれる環境先進性の高いまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

地球環境に優しい暮らし

- ・子どもから大人まで市民みんなが環境学習の成果を活かし、地球の環境に優しいライフスタイルを意識して暮らしている
- ・身近な生活の中で4Rの考え方(Refuse:購入拒否、Reduce:低減、Reuse:再使用、Recycle:再利用)でゴミを減らしたり、省エネルギーに心がけるなど地球環境を考えた具体的な取り組みをしている
- ・一人ひとりがまち中で歩いたり自転車に乗ることを楽しみ、また積極的に電車やバスなどの公共交通を利用している
- ・まち中の公園、河川、ため池、敷地内の緑、建物の壁面や屋上など様々な所に生物の棲息できる空間があり、それらが回廊のようにつながりビオトープのネットワークを形成している
- ・風の通り道を考えたまちの構造になっており、個々の建物は太陽光発電、雨水利用など省エネルギーや資源の循環を考えた構造や設備を備えている

美しい地域環境に包まれた暮らし

- ・玄関先の清掃や緑化から地域の美しい街並みづくりまで、みんながそれぞれに気持ちよく暮らせる地域環境づくりのために取り組んでいる
- ・自分たちの住む地域の閑静で落ち着いたある住環境がかけがえのない財産であることを共有し、みんなで知恵を出し合いながらルールづくりなど環境を守っていくために取り組んでいる
- ・身近にある道路や公園、河川などを美しく保っていくため、地域の人みんなで力を合わせて清掃などに取り組んでいる
- ・宅地やマンションなどの開発にあたっては自然の保全とのバランスを最優先し、地域の人も納得できる美しい環境を生み出すようプロジェクトが進められている

(3) 人やまちの品を育む美しいまち

西宮には古くから人々の暮らしの営みの痕跡が見られますが、近世には西宮神社の門前町として、西国街道や中国街道の宿場町として、また灘五郷の一角をなす酒造のまちとして賑わいを見せました。近代以降は阪神間モダニズムの伝統をくむ自由で洗練された日々の暮らしを楽しむ生活文化と、ハイカラな暮らしの舞台となる美しいまちを育ててきました。こうしたまちの成り立ちや、どこか「品」を感じさせる人とまちは西宮の個性となっています。

今後のまちづくりでは、市民一人ひとりがまちに愛着や誇りを感じることができ、こころ豊かに過ごせる暮らしを実現していきます。このため、これまで培われてきた地域の風土や歴史を大切にしながら、優れた芸術、文化、教育に触れ、人やまちの品を育む美しいまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

地域の伝統や文化が息づく個性ある暮らし

- ・まちの歴史や文化に触れ、地域にある誇れるものをみんなで学び合い、生まれたまち、育ったまち、住んでいるまちに愛着と誇りを持って暮らしている
- ・駅周辺や商店街の賑わいのある街並み、閑静で落ち着いた住宅地、緑に包まれた文教地、歴史を感じさせる酒蔵のあるまち、心和む田園風景などそれぞれの地域に個性あふれる風景がある
- ・ゆとりや潤いのある美しい環境の中で本物の芸術や文化に触れられる機会がたくさんあり、創造性豊かな人を育てている
- ・歴史の舞台となった場所、伝承されてきた文化的な資産、地域の逸話のある場所、眺望の良い場所など、まち中にある様々な名所を巡り、まちへの理解を深めることができる
- ・北部地域の田園風景、古民家、農地、農産物、農村集落の生活文化など、南部の地域にはない資源を活用して、地域の魅力を高めている

生活の質を高める住環境

- ・様々な家族構成やライフステージ、また多様な立場の人がそれぞれのライフスタイルに応じて健康で快適に住まうことができる住宅と環境がある
- ・これまで受け継がれてきた先人のまちへの思いを受け止め、地域で培われてきた生活の文化を継承し、現代に合った自分らしい生活を表現しながら暮らしている
- ・勤務先や旅先から帰って来た時に私たちを暖かく迎え入れてくれ、ほっとした気持ちにさせてくれる街並みや地域の環境がある
- ・阪神間モダニズムの伝統を受け継ぐ閑静で美しい街並みがあり、個人の趣味を楽しみながら健康的で心豊かに暮らしている

(4) 生き生きとした活力と安心を育むまち

私たちは、人の暖かさにふれた時や気持ち良い風景に出会った時などにほっと安らぎを感じることがあります。子どもから高齢者まで誰もが安らぎを感じ、安心して住み続けることができる安全な環境は住宅都市に必要な不可欠な要素です。一方、西宮には酒造などの伝統ある地場産業の他、企業による様々な生産活動が営まれており、地域の経済を支え都市の活力を生み出しています。まちが健全に発展していくためには、市民も事業者もそれぞれが生き生きと活動できる環境が求められます。

今後のまちづくりでは、みんなが安らぎや快適さを感じつつ自分らしさを表現できる暮らしを実現していきます。このため、暮らしに必要な機能が身近に利用でき、また企業の操業環境が住環境と調和しながら保証されたまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

安全で安心できる暮らし

- ・地域での声かけや見回りの活動など「地域の目」によって犯罪から守られ、子どもたちは日暮れまで公園で安心して遊んでいる
- ・地域の人とのふれあいや子育て中の同じ立場の人どうしの交流の中で子どもを育むことができ、子どもを生みたい人が安心して産み育て、また働くことができる
- ・高齢者や障害者もまち中を安心して自由に移動することができ、若い人や健常者と共に様々な活動に参加している
- ・地震などの災害の時には、普段通りなれた道路や公園、河川などが避難路や避難地になったり、延焼を止める役割を果たすよう整備されている

歩いて過ごせる暮らし

- ・買い物や医療など生活と関わりの深い様々なサービスが身近にあり、自動車を使わなくても徒歩や自転車で利用することができる
- ・地域のなじみのお店の店主との会話ややりとりのある買い物を楽しむことができる
- ・休日には家族と美しい街路樹のある通りを散歩しながら、食事や買い物に出かけることができる
- ・自動車を気にせずゆったりと歩いたり自転車で移動しながら、知人と顔を合わせたり、新しい発見があったり、日々の生活を楽しみながら暮らしている

暮らしを支える産業がある

- ・古くから地域で営まれてきた伝統ある地場産業を尊重する心を持ち、また地場産品が暮らしの中に息づいている
- ・まちの中に多様な産業の活動があり、希望や能力に応じて地域で働くチャンスがあって、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現することができる

(5) のびやかなつながりを育むまち

西宮は、旧西宮町に成り立ちや風土の異なる多くの地域が編入されることにより形成されてきたことから、地域ごとに多様な個性を持ち、そうした固有の地域性は現在まで継承されてきました。一方、それぞれの地域には様々な年代、立場の多様な人々が一緒に暮らしています。これらの多様な地域や多様な人々がつながり交流することによって、様々な協働の取り組みや新たな文化が生み出され、またそれらはまちを活性化させます。

今後のまちづくりでは、地域、世代、立場を超えて人々がふれあい、交流できる暮らしを実現します。このため、地域をつなぐ交通基盤の他、様々な人々がつながりを育み、学び合える交流の場があり、つながりが時間を超えて受け継がれ、次代の担い手を育てていく仕組みのあるまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

交流の場がある

- ・地域に気軽に行けるサロンのような場所（カフェ、バー、居酒屋など）があり、様々な人が交流する中で地縁を深めている
- ・まち中の公園で子どもや若い世代の保護者と地域の高齢者がふれあい、ともに見守りながら遊び、時間を過ごしている
- ・学校が地域に開かれ、保護者はもちろん地域の大人が学校の運営や教育にも関わりながら、まちの持続的な発展を支える次代を担う子ども達を育てている
- ・誰もが集まりたいときに集まれ、つながりたいときにつながれる交流の場や人と人をつなぐ仕組みがある

地域間の交流がある

- ・近隣や周辺の地域に行く機会が増え、今まで気づかなかった新しい出会いや発見を楽しみながら暮らしている
- ・都市部と集落部のそれぞれの良さや特徴を活かし、買い物、レクリエーション、仕事など多様な場面で交流しながら暮らしている

訪れる人をもてなす

- ・観光、買い物、仕事、勉強などで市外からも多くの人々が訪れ、まち中には様々な人々が行き交い活気にあふれている
- ・市民が異なる文化を理解し尊重する姿勢で訪れる人々を暖かくもてなす心を持っており、まちにはもてなしの空間がある

(6) 思いやり支え合い一步を踏み出せるまち

私たちは、とかく自分一人の力で暮らしているように感じがちですが、実際にはさまざまな人と関わりながら暮らしています。地域では、見守りや支え合いなどのコミュニティの活動が私たちの暮らしを支えています。こうした活動は阪神・淡路大震災以降、特に活発になってきました。人々のニーズや地域の課題が多様化し複雑化した現代、これまで主に行政が担ってきた公共的役割を市民のみならずとも分担しながら協働することで、より充実した取り組みを目指す「新しい公共」という考え方が注目されています。

今後のまちづくりでは、互いに思いやり、支え合い、応援する気持ちを共有しながら、人の優しさを感じられる暮らしを実現していきます。このため、様々な人との交流を通じて、一人ひとりが自分にできることを考え、できることから一步を踏み出す勇気を与えてくれるまちをめざします。

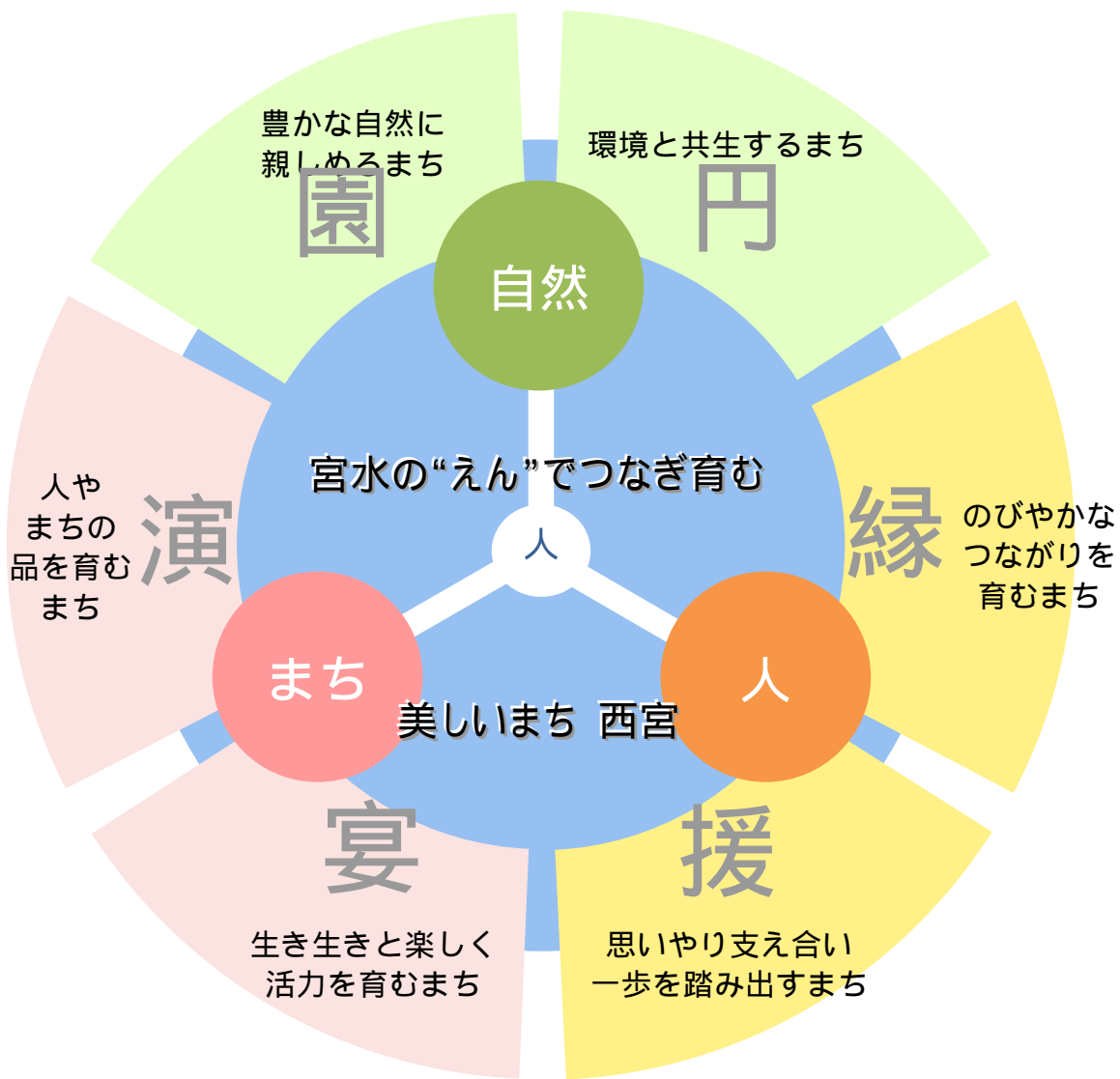
【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

自らできることに取り組む

- ・それぞれの人が興味や関心に応じ、自分の能力を活かして地域で役に立ちたいと思った時に気軽に一步を踏み出すことができる
- ・地域に住まう人みんなが地域の良さや多様な課題を共有し、地域の環境を良くするために積極的に地域との関わりを持ちながら暮らしている
- ・みんなで共に語り合い、共に学び合い、学んだことを地域の中で活かすことで「公」の役割を担い、共に充実感を感じることができる
- ・いろんな人が地域の課題を解決する取り組みに楽しみながら関わり、コミュニティのビジネスとして展開されている

みんなで助け合う暮らし

- ・高齢者や子どもたちの見守りをはじめ、様々な助け合いの活動が地域のコミュニティを基盤として展開されている
- ・地域のことに活かせる能力を持つ人や、コミュニティの活動に意欲のある人と、支援が必要な人をつなぐ仕組みがある
- ・地域に根ざしたお店をみんなで応援する気持ちを持ち、できるだけ地域のお店を利用するように暮らしている
- ・自動車を運転できない人にとって最も身近な交通手段の一つであるバスの路線が維持できるよう、みんなで積極的に利用している

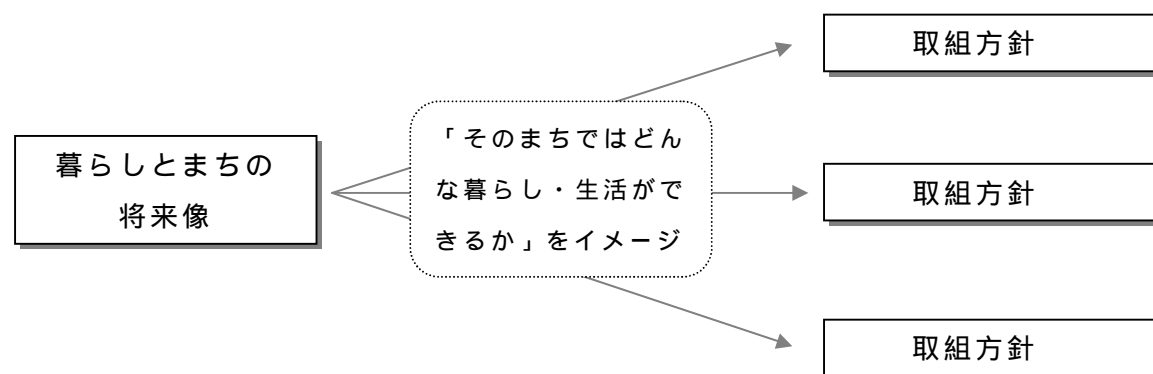


全体構想（ビジョン実現に向けた取組方針）(案)

全体構想（ビジョン実現に向けた取組方針）の考え方

暮らしとまちのビジョンでは、まちづくりの基本理念と、6つの「暮らしとまちの将来像」を設定しています。

その6つの「暮らしとまちの将来像」を実現するため、行政がまちづくりを行うときの取組方針を設定します。この取組方針は、「暮らしとまちの将来像」とそこにおける具体的な暮らしのイメージ・生活イメージを実現する上で何が重要かに配慮しながら設定します。



次に、それぞれの取組方針の趣旨に添った取組を定めます。具体的な取組は、土地利用、交通、景観、環境、産業などの様々な分野を横断的に見渡すものとするとともに、行政のまちづくりへの関与の度合い別に整理をしていく予定です。

- （行政主体の取組）
行政が率先して行う取組を記載する。
- （市民等（企業市民含む）と行政の協働による取組）
市民、事業者、行政が互いの役割を明確にし、協働での取組を記載する。
- （市民活動を促す取組）
市民や事業者が自立的に活動ができるよう、行政として後押しするような取組を記載する。

全体構想の構成イメージ

暮らしとまちの将来像： なまち			
【主な取組方針】	行政主体の取組	市民等（企業市民含む）と行政の協働による取組	市民活動を支援する取組
	...		
説明文			
...	行政主体の取組	市民等（企業市民含む）と行政の協働による取組	市民活動を支援する取組
説明文			
xxx...	行政主体の取組	市民等（企業市民含む）と行政の協働による取組	市民活動を支援する取組
説明文			

次ページ以降に考え方を示しています。

豊かな水と緑に親しめるまち

西宮には市街地の背景となっている六甲の山並み、まちのシンボルのひとつでもある甲山、武庫川や夙川をはじめとする水の流れ、豊かな水をたたえる大池や新池などのため池、甲子園浜や香櫨園浜の自然海岸、街路樹に覆われたまち中の緑陰空間など豊かな緑と水があります。これらの緑や水は私たちの生活にやすらぎや暖かみを与えるばかりでなく、都市の風格を生み出すとともに、文教住宅都市としての環境の重要な素地となっています。

今後のまちづくりでは、みんなが自然をより身近な存在として感じ、その恩恵を享受できる暮らしを実現していきます。このため、緑や水との関わりを通じたコミュニケーションを大切にしながら、人と自然が調和する緑と水に包まれた庭園のまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

- ・自然体験を通じて自然のもつ役割や私たちの暮らしとの関係について学び、その恩恵に対する喜びと感謝を感じながら暮らしている

キーワード 自然体験を行える場、 自然を学習する場

- ・豊かな緑や水に囲まれた環境の中で、青少年がのびのびと健やかな心身と、集中力やひらめきを育んでいる

キーワード 豊かな緑や水、 運動に適した場、 清和な環境

- ・森にはムササビ、川には蛍が棲むなど、多様な生態系が維持されている

キーワード 生物の多様性

- ・休日には家族でふらっと美しい海、山、川、森に行き、自然と親しむことができる

キーワード 身近な自然、 自然と親しむレジャー環境

- ・子どもたちが美しい海や川で安全に、のびのびと遊べ、そこで釣った魚は食べることができる

キーワード 子どもが遊べる海や川、 きれいな水

- ・緑に包まれた環境の中に心のケアを行うセラピーガーデンや、自然学習ができる空間がある

キーワード 緑に包まれた環境、 セラピーガーデンや自然学習

- ・身近にある緑豊かな公園や広場、街路樹の緑陰に憩い、語らうことができる

キーワード 緑豊かな公園や広場、 人が集まる木陰

- ・鎮守の森や各地の公園などの緑の核を結ぶ緑豊かな街並みがあり、暮らしの中でいつも緑を感じていることができる

キーワード 鎮守の森など緑の核となる場所、 緑のネットワーク

- ・休日には自宅からそう遠くないところにある市民農園で農を体験したり、地域にあるコミュニティガーデンで植物を育て、人々とのふれあいや交流、緑を愛する心を育んでいる

キーワード 市民農園、 コミュニティガーデン、 交流の場

【主な取組方針】

豊かな自然を守る

(説明文)……………

豊かな緑と水、 清和な環境、 生物の多様性、 きれいな水、 緑に包まれた環境、
鎮守の森など緑に包まれた環境、 緑のネットワーク

身近な緑と水を育む

(説明文)……………

自然体験を行える場、 自然を学習する場、運動に適した場、 身近な自然、
自然と親しむレジャー環境、子どもが遊べる海や川、 セラピーガーデンや自然学習、
緑豊かな公園や広場、人が集まる木陰、 市民農園、 コミュニティガーデン、 交流の場

実現に向けて

環境と共生するまち

私たちが暮らす市街地や集落地の環境は、自然の地勢と道路、公園、建物、農地などの人工物によって構成されています。これらの環境は私たちの日々の暮らしのニーズに応じて作られてきたものであり、また逆に、私たちの暮らしはこうした環境に左右されるものでもあります。更に、そこで営まれる暮らしは地球の環境とも深く結びつき、近年は私たちの暮らしが地球の環境に与える影響による問題が深刻化しつつあります。

今後のまちづくりでは、身近な地域の環境や地球環境との関係を意識しながら、地球にやさしい暮らしを実現していきます。このため、美しく快適な地域環境の中で自然を意識するきっかけを与えてくれる環境先進性の高いまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

- ・玄関先の緑化から地域の美しい街並みづくりまで、みんながそれぞれに気持ちよく暮らせる地域環境づくりのために取り組んでいる

キーワード 美しい街並みづくり、 地域の緑化

- ・自分たちの住む地域の閑静で落ち着いたある住環境がかけがえのない財産であることを共有し、みんなで知恵を出し合いながらルールづくりなど環境を守っていくために取り組んでいる

キーワード 閑静で落ち着いたある住環境、 環境を守るルールづくり

- ・身近にある道路や公園、河川などを美しく保っていくため、地域の人みんなで力を合わせて清掃などに取り組んでいる

キーワード 地域の清掃活動

- ・宅地やマンションなどの開発にあたっては自然の保全とのバランスを最優先し、地域の人も納得できる美しい環境を生み出すようプロジェクトが進められている

キーワード 開発と自然とのバランス

- ・子どもから大人まで市民みんなが環境学習の成果を活かし、地球の環境に優しいライフスタイルを意識して暮らしている

キーワード 地球環境に優しいライフスタイル

- ・身近な生活の中で4Rの考え方（Refuse：購入拒否、Reduce：低減、Reuse：再使用、Recycle：再利用）でゴミを減らしたり、省エネルギーに心がけるなど地球環境を考えた具体的な取り組みをしている

キーワード 4Rの考え方、 省エネルギー

- ・一人ひとりがまち中で歩いたり自転車に乗ることを楽しみ、また積極的に電車やバスなどの公共交通を利用している

キーワード 公共交通の利用

- ・まち中の公園、河川、ため池、敷地内の緑、建物の壁面や屋上など様々な所に生物の棲息できる空間があり、それらが回廊のようにつながりビオトープのネットワークを形成している

キーワード 壁面・屋上緑化、 ビオトープのネットワーク

- ・風の通り道を考えたまちの構造になっており、個々の建物は太陽光発電、雨水利用など省エネルギーや資源の循環を考えた構造や設備を備えている

キーワード 自然エネルギー、 資源の循環

【主な取組方針】

地球環境に配慮する

(説明文)……………

環境を守るルールづくり、 開発と自然とのバランス、 地球環境に優しいライフスタイル
4Rの考え方、 省エネルギー、 公共交通の利用、 ビオトープのネットワーク
自然エネルギー、 資源の循環

地域との調和に配慮する

(説明文)……………

美しい街並みづくり、 地域の緑化、 閑静で落ち着いたある住環境、 地域の清掃活動、
壁面・屋上緑化、

実現に向けて

人とまち

人やまちの品を育む美しいまち

西宮には古くから人々の暮らしの営みの痕跡が見られますが、近世には西宮神社の門前町として、西国街道や中国街道の宿場町として、また灘五郷の一角をなす酒造のまちとして賑わいを見せました。近代以降は阪神間モダニズムの伝統をくむ自由で洗練された日々の暮らしを楽しむ生活文化と、ハイカラな暮らしの舞台となる美しいまちを育んできました。こうしたまちの成り立ちや、どこか「品」を感じさせる人とまちは西宮の個性となっています。

今後のまちづくりでは、市民一人ひとりがまちに愛着や誇りを感じることができ、こころ豊かに過ごせる暮らしを実現していきます。このため、これまで培われてきた地域の風土や歴史を大切にしながら、優れた芸術、文化、教育に触れ、人やまちの品を育む美しいまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

- ・まちの歴史や文化に触れ、地域にある誇れるものをみんなで学び合い、生まれたまち、育ったまち、住んでいるまちに愛着と誇りを持って暮らしている

キーワード まちの歴史や文化、 地域の愛着と誇り

- ・駅周辺や商店街の賑わいのある街並み、閑静で落ち着いた住宅地、緑に包まれた文教地、歴史を感じさせる酒蔵のあるまち、心む田園風景などそれぞれの地域に個性あふれる風景がある

キーワード 地域の個性あふれる風景

- ・ゆとりや潤いのある美しい環境の中で本物の芸術や文化に触れられる機会がたくさんあり、創造性豊かな人を育てている

キーワード 芸術や文化に触れる場

- ・歴史の舞台となった場所、伝承されてきた文化的な資産、地域の逸話のある場所、眺望の良い場所など、まち中にある様々な名所を巡り、まちへの理解を深めることができる

キーワード まちを知る機会

- ・北部地域の田園風景、古民家、農地、農産物、農村集落の生活文化など、南部の地域にはない資源を活用して、地域の魅力を高めている

キーワード 生活文化、 地域の独自性

- ・様々な家族構成やライフステージ、また多様な立場の人がそれぞれのライフスタイルに応じて健康で快適に住まうことができる住宅と環境がある

キーワード 多種多様なライフスタイル

- ・これまで受け継がれてきた先人のまちへの思いを受け止め、地域で培われてきた生活の文化を継承し、現代に合った自分らしい生活を表現しながら暮らしている

キーワード 歴史や文化の伝承

- ・勤務先や旅先から帰って来た時に私たちが暖かく迎え入れてくれ、ほっとした気持ちにさせてくれる街並みや地域の環境がある

キーワード “ほっ”とするまちなみ

- ・阪神間モダニズムの伝統を受け継ぐ閑静で美しい街並みがあり、個人の趣味を楽しみながら健康的で心豊かに暮らしている

キーワード 阪神間モダニズム、 個人が尊重される暮らし

【主な取組方針】

地域の個性を大切にする

(説明文).....

まちの歴史や文化、 地域の愛着と誇り、 地域の個性あふれる風景、 まちを知る機会
生活文化、 地域の独自性、 多種多様なライフスタイル、 個人が尊重される暮らし

まちなみ景観を整える

(説明文).....

地域の個性あふれる風景、 “ほっ”とするまちなみ

文教的環境を整える

(説明文).....

芸術や文化に触れる場、 まちを知る機会、 歴史や文化の伝承、 阪神間モダニズム

実現に向けて

生き生きと楽しく活力を育むまち

私たちは、人の暖かさにふれた時や気持ち良い風景に出会った時などにほっと安らぎを感じることがあります。子どもから高齢者まで誰もが安らぎを感じ、安心して住み続けることができる安全な環境は住宅都市に必要な不可欠な要素です。一方、西宮には酒造などの伝統ある地場産業の他、企業による様々な生産活動が営まれており、地域の経済を支え都市の活力を生み出しています。まちが健全に発展していくためには、市民も事業者もそれぞれが生き生きと活動できる環境が求められます。

今後のまちづくりでは、みんなが安らぎや快適さを感じつつ自分らしさを表現できる暮らしを実現していきます。このため、暮らしに必要な機能が身近に利用でき、また企業の操業環境が住環境と調和しながら保証されたまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

- ・ 地域での声かけや見回りの活動など「地域の目」によって犯罪から守られ、子どもたちは日暮れまで公園で安心して遊んでいる

キーワード 子どもが安心して遊べる環境

- ・ 地域の人とのふれあいや子育て中の同じ立場の人どうしの交流の中で子どもを育むことができ、子どもを生みたい人が安心して産み育て、また働くことができる

キーワード 安心して子育てできる環境

- ・ 高齢者や障害者もまち中を安心して自由に移動することができ、若い人や健常者と共に様々な活動に参加している

キーワード バリアフリー

- ・ 地震などの災害の時には、普段通りなれた道路や公園、河川などが避難路や避難地になったり、延焼を止める役割を果たすよう整備されている

キーワード 防災性の高いまち

- ・ 買い物や医療など生活と関わりの深い様々なサービスが身近にあり、自動車を使わなくても徒歩や自転車で利用することができる

キーワード 歩いて暮らせる

- ・ 地域のなじみのお店の店主との会話ややりとりのある買い物を楽しむことができる

キーワード 活気のある商店街、 地域密着

- ・ 休日には家族と美しい街路樹のある通りを散歩しながら、食事や買い物に出かけることができる

キーワード 美しい街路樹のある散歩道

- ・ 自動車を気にせずゆったりと歩いたり自転車で乗って移動しながら、知人と顔を合わせたり、新しい発見があったり、日々の生活を楽しみながら暮らしている

キーワード 歩きながら楽しみが発見できる

- ・ 古くから地域で営まれてきた伝統ある地場産業を尊重する心を持ち、また地場産品が暮らしの中に息づいている

キーワード 地場を大切に思う心、 地産地消

- ・ まちの中に多様な産業の活動があり、希望や能力に応じて地域で働くチャンスがあって、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現することができる

キーワード 安心して産業活動ができる

【主な取組方針】

安全・安心な環境をつくる

(説明文).....

子どもが安心して遊べる環境、 安心して子育てできる環境、 バリアフリー、
防災性の高いまち、 歩きながら楽しみが発見できる

歩いて暮らせる環境をつくる

(説明文).....

子どもが安心して遊べる環境、 バリアフリー、 歩いて暮らせる
美しい街路樹のある散歩道、 歩きながら楽しみが発見できる

産業を守り育てる

(説明文).....

活気のある商店街、 地域密着、 地場を大切に思う心、 地産地消
安心して産業活動ができる

実現に向けて

人と人

のびやかなつながりを育むまち

西宮は、旧西宮町に成り立ちや風土の異なる多くの地域が編入されることにより形成されてきたことから、地域ごとに多様な個性を持ち、そうした固有の地域性は現在まで継承されてきました。一方、それぞれの地域には様々な年代、立場の多様な人々が一緒に暮らしています。これらの多様な地域や多様な人々がつながり交流することによって、様々な協働の取り組みや新たな文化が生み出され、またそれらはまちを活性化させます。

今後のまちづくりでは、地域、世代、立場を超えて人々がふれあい、交流できる暮らしを実現します。このため、地域をつなぐ交通基盤の他、様々な人々がつながりを育み、学び合える交流の場があり、つながりが時間を超えて受け継がれ、次代の担い手を育てていく仕組みのあるまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

- ・地域に気軽に行けるサロンのような場所（カフェ、バー、居酒屋など）があり、様々な人が交流する中で地縁を深めている

キーワード 交流の場

- ・まち中の公園で子どもや若い世代の保護者と地域の高齢者がふれあい、ともに見守りながら遊び、時間を過ごしている

キーワード 多世代交流

- ・学校が地域に開かれ、保護者はもちろん地域の大人が学校の運営や教育にも関わりながら、まちの持続的な発展を支える次代を担う子ども達を育てている

キーワード 地域に密着した教育

- ・誰もが集まりたいときに集まれ、つながりたいときにつながれる交流の場や人と人をつなぐ仕組みがある

キーワード みんなに開かれたまち、人と人をつなぐ仕組み

- ・近隣や周辺の地域に行く機会が増え、今まで気づかなかった新しい出会いや発見を楽しみながら暮らしている

キーワード 地域間の交流、移動のしやすさ

- ・都市部と集落部のそれぞれの良さや特徴を活かし、買い物、レクリエーション、仕事など多様な場面で交流しながら暮らしている

キーワード 目的に応じた交流のあり方

- ・観光、買い物、仕事、勉強などで市外からも多くの人々が訪れ、まち中には様々な人々が行き交い活気にあふれている

キーワード 様々な人が行き交う

- ・市民が異なる文化を理解し尊重する姿勢で訪れる人々を暖かくもてなす心を持っており、まちにはもてなしの空間がある

キーワード もてなしの空間、ホスピタリティがあふれる空間

【主な取組方針】

交流の場をつくる

(説明文).....

交流の場、多世代交流、地域に密着した教育、地域間の交流
目的に応じた交流のあり方、様々な人が行き交う

交流の手段を整える

(説明文).....

人と人をつなぐ仕組み、移動のしやすさ、様々な人が行き交う

もてなしの場をつくる

(説明文).....

みんなに開かれたまち、もてなしの空間、ホスピタリティがあふれる空間、

実現に向けて

思いやり支えあい一歩を踏み出すまち

私たちは、とかく自分一人の力で暮らしているように感じがちですが、実際にはさまざまな人と関わりながら暮らしています。地域では、見守りや支え合いなどのコミュニティの活動が私たちの暮らしを支えています。こうした活動は阪神・淡路大震災以降、特に活発になってきました。人々のニーズや地域の課題が多様化し複雑化した現代、これまで主に行政が担ってきた公共的役割を市民のみなさんとも分担しながら協働することで、より充実した取り組みを目指す「新しい公共」という考え方が注目されています。

今後のまちづくりでは、互いに思いやり、支え合い、応援する気持ちを共有しながら、人の優しさを感じられる暮らしを実現していきます。このため、様々な人との交流を通じて、一人ひとりが自分にできることを考え、できることから一歩を踏み出す勇気を与えてくれるまちをめざします。

【私たちが目指す暮らしとまちのイメージ】

- それぞれの人が興味や関心に応じ、自分の能力を活かして地域で役に立ちたいと思った時に気軽に一歩を踏み出すことができる
キーワード できることから始める
- 地域に住まう人みんなが地域の良さや多様な課題を共有し、地域の環境を良くするために積極的に地域との関わりを持ちながら暮らしている
キーワード 一人の意見をみんなの意見に
- みんなで共に語り合い、共に学び合い、学んだことを地域の中で活かすことで「公」の役割を担い、共に充実感を感じることができる
キーワード 新しい「公」
- いろんな人が地域の課題を解決する取り組みに楽しみながら関わり、コミュニティのビジネスとして展開されている
キーワード ビジネスベースによるまちづくり
- 高齢者や子どもたちの見守りをはじめ、様々な助け合いの活動が地域のコミュニティを基盤として展開されている
キーワード 地域コミュニティ
- 地域のことに活かせる能力を持つ人や、コミュニティの活動に意欲のある人と、支援が必要な人をつなぐ仕組みがある
キーワード 潜在的な地域力
- 地域に根ざしたお店をみんなで応援する気持ちを持ち、できるだけ地域のお店を利用するように暮らしている
キーワード 地域の活性化
- 自動車を運転できない人にとって最も身近な交通手段の一つであるバスの路線が維持できるよう、みんなで積極的に利用している
キーワード 支えあう社会

【主な取組方針】

自立的な活動を促す

(説明文)……………

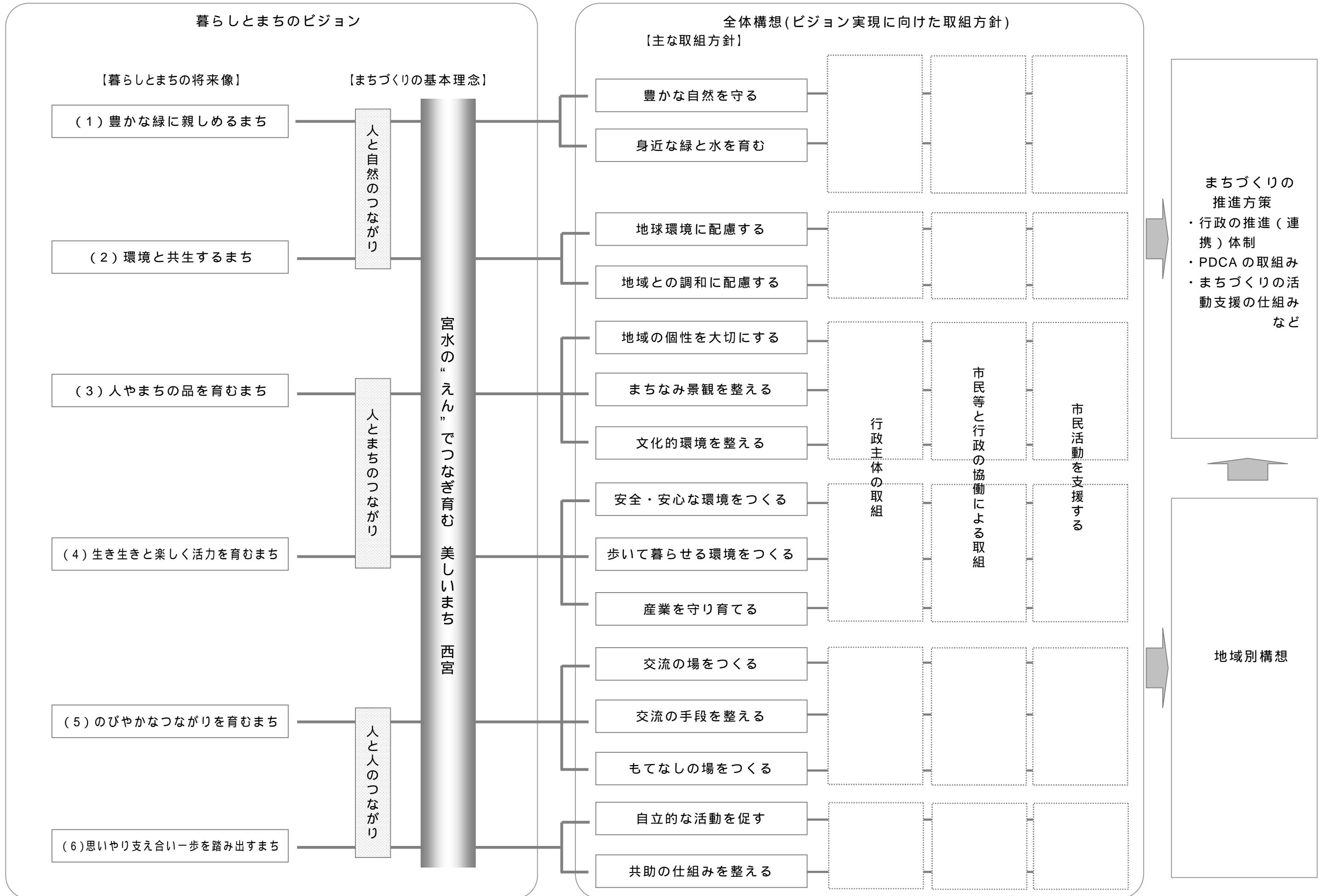
できることから始める、

共助の仕組みを整える

(説明文)……………

一人の意見をみんなの意見に、新しい「公」、ビジネスベースによるまちづくり、地域コミュニティ、潜在的な地域力、地域の活性化、支えあう社会

実現に向けて



各回の検討内容(予定)

策定委員会	検討内容(予定)
第1回 7/10(土) 14:00~16:30 西宮市大学交流センターセミナー室2 アクタ西宮東館 6F	委員会の位置づけと都市マスタープラン策定の進め方 ・ 都市MPの見直しの考え方、構成の確認 暮らしとまちのビジョンの報告(WSより) ・ WS提案の報告
第2回 7/31(土) 14:00~16:30 西宮市役所 東館 801、802 会議室	暮らしとまちのビジョンの検討(1) ・ WS提案を踏まえた基本理念
第3回 8/14(土) 14:00~16:30 西宮市大学交流センターセミナー室2 アクタ西宮東館 6F	暮らしとまちのビジョンの検討(2) ・ 基本理念(キャッチフレーズ)の暫定案
第4回 9/18(土) 14:00~16:30 西宮市大学交流センターセミナー室2 アクタ西宮東館 6F	暮らしとまちのビジョンの検討(3) ・ 基本理念 ・ 暮らしとまちの将来像
第5回 10/16(土) 10:00~12:30 西宮市大学交流センターセミナー室2 アクタ西宮東館 6F	暮らしとまちのビジョンの検討(4) ・ とりまとめ 全体構想の検討(1) ・ 都市づくりの基本方針
第6回 11/7(日) 14:00~16:30 西宮市大学交流センターセミナー室1 アクタ西宮東館 6F(予定)	推進方策・地域別構想の検討(1) ・ 推進方策の枠組み ・ 地域別構想の位置づけ
第7回 12/11(土) 14:00~16:30 西宮市役所 東館 801、802 会議室 (予定)	全体構想の検討(2) ・ とりまとめの仮案 推進方策・地域別構想の検討(2) ・ 推進方策の内容 ・ 地域別構想の内容
第8回 H23 1/8(土) 14:00~16:30 西宮市大学交流センターセミナー室2 アクタ西宮東館 6F(予定)	全体とりまとめ(1) ・ パブリックコメント提示案の確認
第9回 3/12(土) 14:00~16:30 西宮市大学交流センターセミナー室2 アクタ西宮東館 6F(予定)	全体とりまとめ(2) ・ パブリックコメント結果報告 ・ 最終とりまとめ案の確認

2月にパブリックコメントを予定